

報道各社への取材の御案内

「世界の報道人 100 人」に選ばれた菊竹六鼓、没後 80 年

うきは市吉井町出身の菊竹六鼓は明治 36 年(1903)、福岡日日新聞(西日本新聞の前身)に入社、31 歳で編集長に抜擢され、昭和 7 年(1932)、犬養毅首相が海軍将校によって殺害された 5.15 事件では、軍部の行動を批判するマスコミが皆無に等しいなか死を覚悟して国への憂いを書き続けた。信念の言論人として「20 世紀の世界の報道人 100 人」に選ばれる。昭和 12 年(1937)7 月 21 日、逝去。今夏、没後 80 年を迎える。市内の「菊竹六鼓記念館」では、遺品や記録を後世に伝える。



▲5.15 事件で軍部を批判した福岡日日新聞



▲「菊竹六鼓記念館」では、六鼓の遺品や記録を後世に伝える(うきは市吉井町 1082-1)

編集: うきは市総務課広報係 (Tel.0943-75-4980) 係長・瀧内宏治、重富結人(瀧内:携帯 090-7454-6381)

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2017. 5. 11 発表 / 「世界の報道人 100 人」に選ばれた菊竹六鼓、没後 80 年